



青南だより

令和3年10月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<新しい生活様式を支えるICT環境の充実>

9月は全体保護者会、学年懇談会などをオンラインで実施しました。心の子育て講座はハイブリッド形式でした。いずれもその後、録画した動画の配信もできました。学年ごとのマスクや手洗いの指導もインターネットの動画を使い、年長組は大型テレビやタブレットで花火やオリンピックの動画を活用しています。ホームページから日々の遊びや生活の様子や幼児教育の魅力を発信し、がくぷりでのプリント類の配信ができていたのも、港区ならではの厚いICT環境の充実のお陰です。

<子どもも大人も学ぶ幼稚園>

心の子育て講座では、幼児期からのキャリア教育について学びました。講師の島田さんはキャリアカウンセラーであり、母であり、区立幼稚園のPTA会長もされた方です。印象的だったのは、人事の面接官をする中で、たくさん勉強をしてきているのに、自信がなく意欲がない若者とたくさん出会っているという話でした。そこで欠けている自己肯定や自己効力感は、大人になってからでは身に付きにくく、幼児期の遊びや生活の中でこそ育つというのです。幼児教育の重要性をキャリア教育の切り口からも裏付けてもらった貴重な講演会でした。

<自然との関わりは種まきと手入れが大事>

夏休み明け、園庭の自然は子どもたちにいろいろな贈り物を用意してくれていました。ツマグロヒョウモンの幼虫やギンヤンマのヤゴを育て、アサガオやオシロイバナで色水遊びを楽しめています。しかしこれも、数か月先の園庭を考えて種をまき、使える草花は残し、害虫を呼びそうな草や伸びすぎた枝や草は剪定して手入れをしてきた教材準備の成果です。そして、今、夏野菜の後始末も子どもたちと一緒にし、手間暇を掛けることで豊かな実りをいただけることを体で学んでいます。

・・・神無月(かなづき)・・・

寒露(8日)・・・空が澄み、柿の実が色付き始めます・・・

霜降(23日)・・・数珠玉が色付いて取り頃になります・・・

今年もキラキラドアの階段下に赤、裏庭のビワの木の下に白い彼岸花がきれいに咲きました。9月初旬に花芽が顔を出し、花の盛りは数日でした。この花を愛でることができるのは、15年以上前の先生たちが球根を植えてくれたお陰です。築山のフェンスのブドウや砂場の上のザクロ、裏庭の柿も冬から夏にかけての剪定や手入れの成果がでて、おいしい実りをもたらしてくれそうです。春は芽のもの、夏は葉のもの、秋は実のもの、冬は根のもの。これ全て自然からの贈り物です。

青南の
二十四節気



ピクトグラムの動きを大型テレビで見ました



心の子育て講座はハイブリッド形式で開催



スマレの葉っぱで育ったツマグロヒョウモン



お月見子ども会・ハッピーコンサート



艶やかな姿のシロバナヒガンバナ